

なが"じんまが"じん^{Vol.}90

腎臓病専門施設である長崎腎病院・クリニック広報誌

Take free

- ◆在宅血液透析
- ◆部署紹介 血液浄化センター
- ◆日本透析医学会学術集会 演題紹介
- ◆日本透析医学会 参加報告
- ◆安全管理「PTPシートの誤飲」
- ◆感染情報「夏かぜにご注意ください」
- ◆アメリカ糖尿病学会参加報告
- ◆広報委員のつぶやき
- ◆こくら庵便り ユニット紹介



血液浄化センター

看護課長 白井美千代

2011年7月に桜町病院・桜町クリニックの2施設を統合し『長崎腎病院』として開院、今年で8年目を迎えます。当院は「24時間対応の腎疾患専門施設」として緊急透析や入院も可能となっており、治療や合併症対策にも積極的に取り組んでいます。維持透析の患者さんは、長期にわたり週3回の通院が必要で、生涯を通し日常生活と治療を切り離して考えることは出来ません。当院では、一般的な透析治療に加え患者さんのQOLを第1に考えた在宅血液透析への取り組みも行っていきます。透析患者さんが「元気で長生き」できるように専門職がチーム一丸となり、より良い医療・看護の提供を目指して日々研鑽しています。



スタッフ構成

医師(透析専門医・腎臓専門医)

看護師(慢性腎臓病療養指導看護師・日本糖尿病療養指導士・透析技術認定士)

臨床工学技士(透析技術認定士)

医師クラーク、看護助手

透析ベッド数

3階	74床(個室4)	自身で外来通院される患者さん
4階	45床	介護通院や施設入居の患者さん
6階	18床	入院中の患者さん

* 透析フロアが3か所あり、患者さんの看護度に合わせてスタッフの人員配置を行っています。

透析開始時間

1クール	8:00~10:30	フロアにより開始時間に多少違いがあります
2クール	14:00~16:00	
3クール	17:00~18:30	月水金のみ

* 患者さんのライフスタイルに合わせて透析時間帯を設定しています。

血液浄化法

血液透析(HD)・血液濾過透析(On-LineHDF、i-HDF)・在宅血液透析(HHD)・腹膜透析(PD)・血液吸着・血漿交換など各々の患者さんに適した血液浄化療法を行っています。

旅行透析受入れ

全国から旅行・出張で年間約100名の方が透析に来られます。時には台湾や香港からの旅行者も受入れています。



第63回 日本透析医学会学術集会 演題紹介

発表者	演題名
峰尚幸	透析通院拒否した患者への特養における対応
北田恭平	血液透析患者の末梢動脈疾患(PAD)診断におけるPronto®の有用性
原田孝司	透析専門病院における肺炎、敗血症の検討～原因菌および薬剤感受性からの検討～
上川阿郁	血液透析患者における非観血的Hb測定装置Pronto®の有用性
船越哲	血液透析によるインスリン抵抗性改善の可能性
大畑裕子	当院における退院支援チームの評価
橋口純一郎	二次性副甲状腺機能亢進症におけるシナカルセットからエテルカルセチドへ変更時の骨代謝マーカーと骨塩量の変化
橋口純一郎	二次性副甲状腺機能亢進症患者におけるシナカルセットとエテルカルセチドの消化器症状定量化比較
田賀農恵	在宅血液透析(HHD)患者交流会の意義
川口利江	糖尿病透析患者の栄養状態は歯周病有病率ではなく残存歯数に関連する
中村麻美	血液透析は塩分に対する味覚を改善させる - 食塩含浸濾紙法による検討 -
田口尚人	二次性副甲状腺機能亢進症(SHPT)を合併する骨粗鬆症の透析患者に対するデノスマブ投与の影響
藤原久子	当院通院血液透析患者で経験した家族による虐待の2症例
川口利江	チーム医療介入による血清リン適正化とリン値への意識変化の効果
大津留更	抗菌薬投与によりINRが延長した透析患者の1症例
船越哲	在宅血液透析(HHD)は通院透析に比べ経営上有益である
佐藤 泰崇	当院での在宅血液透析普及に向けての推進活動

日本透析医学会 参加報告

臨床工学課 田口尚人

2018年6月29日から7月1日まで神戸で開催された第63回日本透析医学会学術集会に参加してきました。今回は「腎臓絶技」というテーマのもと、血液透析・在宅透析・腹膜透析・腎移植に加えて再生医療に関する議論が5会場で行われました。当院からも口演・ポスターを合わせ11題発表しました。また当日は芸能人の方のセッション等もあり各会場、大変暑い中盛り上がりを見せていました。今回の経験を活かし、病院としても私、個人としても治療における水準を向上・維持できるように努めていきたいと思っております。



こちら

安全管理
チームです！

PTPシートの誤飲

薬剤課 小嶺真耶

おくすりを安全に服用していただくことはとても大切なことです。

近年、おくすりの包装シート(特にPTPシート)の誤飲事故が全国で多く報告されています。

PTPシートとはプラスチックにアルミを貼り合わせた包装で、錠剤やカプセル剤などが包装の外から見え管理がしやすいこともあり、おくすりの包装の主流となっています。

通常はこの包装シートからおくすりを取り出して服用いただきますが、誤って包装シートごと服用し重大な事故につながっている事例が後を絶ちません。

この事故の原因のひとつは、ハサミなどでおくすりを1錠ずつに切り離してしまうことです。1錠ずつに切り離すと誤飲を招きやすいサイズになるうえ、切った角が鋭くなり、誤って服用した場合に消化管などを傷つける危険があります。

このような事故を防ぐため、包装シートにはタテまたはヨコの一方方向のみにしかミシン目が入っていません。これは、手では1錠ずつに切り離せないようにするための安全対策です。以前の包装シートはタテ・ヨコにそれぞれミシン目が入っており容易に錠剤やカプセル剤を1錠ずつに切り離せる構造になっていました。しかし、包装シートごと飲み込んでしまう事故が多く報告されたため、現在の構造となりました。

おくすりを服用する際に、PTPシートの誤飲という重大な事故につながらないように注意していただきたいのは、

- ①PTPシートを小さく1錠ずつに切り離さない
- ②1回分ずつの薬をまとめて入れる『1包化』を活用する
- ③PTPシートを飲み込んだかもしれないと思ったら、すぐに診察を受ける

などがあります。

1包化をご希望される場合は、湿気に弱いおくすりなどもありますので服用されているおくすりが適しているかを確認させていただきます。

おくすりは安全に服用いただいて初めて効果を発揮します。

日頃からおくすりを服用する際にはPTPシートを誤飲しないように注意しましょう。



夏かぜ にご注意ください!

放射線課 大山智之

例年、夏場に流行する感染症として、手足口病 やヘルパンギーナが挙げられます。

5月頃から報告数が増加しはじめ、7月頃にピークを迎えます。発熱と水疱性発疹を主徴とするウイルス性感染症で、基本的に予後良好ですが、場合によっては髄膜炎や脳炎などの重篤な合併症を併発することもありますので、感染防止に努めてください。

主な原因であるエンテロウイルスは、せきやくしゃみを介した飛沫感染と、患者の便に汚染されたオムツや下着、器物からの接触感染(糞口感染)により広がっていきます。

特に便からは1~4週間にわたりウイルスが検出されるため、回復後も感染源となり得ますのでオムツ交換や排便後の手洗いの徹底が必要です。主として乳幼児や小児に流行するため、保護者の方はお子さんの手洗いと体調管理に気をつけてあげましょう。



船越理事長へ同行し米国糖尿病学会へ参加する。初めての海外研修ということもあり、スケールの大きさに圧倒されていた中で、外国人のコミュニケーション能力の高さをあらためて知らされる。もちろん英語でのやりとりのため内容の把握はできないが、コミュニケーション力がいかに重要かを再認識する。

情報を正しく伝達し共有できるかどうかは、結果の違い、収益の差、ひいては会社の発展を左右する。コミュニケーションは双方向のものであるから、新人や中堅だけではなく、上司にも管理職にも、経営者にも重要な問題である。

コミュニケーションをとるということは話す能力を重要視してしまいがちだが、相手の立場に立って注意深く聴くことが重要である。会話はキャッチボールであり、聴けない人は話せない。聴き上手になることは、相手との信頼関係を深めることでもある。もちろん漠然と聞くだけではダメで、話を曖昧にしない質問の仕方、相づちの打ち方、自身と相手とのコミュニケーションスタイルの把握などを身につけなくてはならない。

圧倒され緊張の中、当院で使用しているCGMをみたときには、日本に帰国したような緩和された気分になる。CGMを用いることで、これまでに把握できないグルコース変動を、より正確に評価することができる。個々の患者の状態に即した適切な治療方針を立案、支援することができる。

糖尿病患者は急増している。糖尿病の疑いがある人の約4割が治療を受けずに放置している。また治療を始めても高額な治療費の問題や食事制限が続けられずに中断してしまう人が多いのも現状である。合併症が進行すると、今までの生活は送れなくなる。糖尿病はまずは予防が大切であり、血糖値が高くなってしまったら早目の対策が必要である。



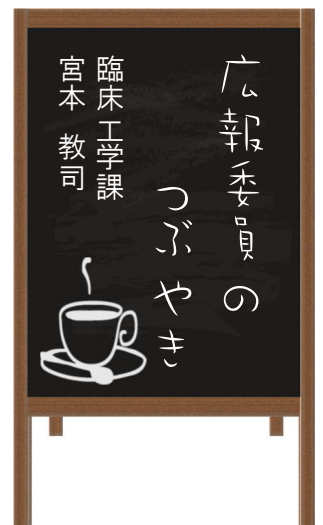
ながじんまがじんを「覧の皆様こんにちは
は。この異常な暑さをどうお過ごしでしょうか？」

私はというと、家のエアコンが故障しており

毎日蒸し風呂にでも入っているかのような日が続いております。2〜3年前からエアコンの効きが悪く「今年は暑いなあ…」家の造りが悪くて熱がこもってしまう構造なのかなあ…などと思いつつ暑い夏を過ごしていたところ、ただ単にエアコンが故障していただけだった。という素晴らしいオチで今年の夏を迎えました。すぐに管理会社に修理の依頼をしたところ、新品と取り換えるとの事でしたのでもうしばらく蒸し風呂を堪能しようと思っております。

そんな涼しくもない家で私が何をしているかというと、とにかくじーっとしています。お地蔵様とまではいきませんが、じっとしています。何せその場合は蒸し風呂。じっとする他はありません。しかし、夕方になり日が落ちだすと少しだけ過ごしやすくなります。そうなればここのもの。外に出てさあ何をしよう…。そう考えながらやりたいことは決まっています。魚釣りの道具を探し出しいざ出陣。しかし、そううまくはいきません。

狙っている魚は「ブラックバス」という海にはいない魚であり、ダムや池などに生息する淡水の魚。そしてこの魚は人間に似ている所があり涼を求めます。日中は水温の変化が少ない深い場所や冷たい水が流れる流れ込み、岩の影などにいます。夕方になると餌を求め岸近くにやってきます。そこにルアーやワームを投げ餌に見立てて魚を釣るのですが、何度も釣り上げられている魚は疑似餌だということに気付き見切ってしまう。そして釣りをしている人間も水中から見えているらしく近づきすぎると逃げてしまいます。そんな頭のいい魚をどう釣るか考えて釣りをしている楽しいものです。なぜならその池やダムに必ず魚がいるからです。すべてが繋がっている広い海とは違い「ブラックバス」がその場所にいることが分かっているのです。昨年の夏は県内外の池やダムやクリークを攻めました。やはり日中はまったく釣れません。ブラックバスを知り今年こそ攻略したいものです。ちなみに春と秋は食欲旺盛、寒い冬は1日中じっとしています。まさに人間と同じですね。





もう一つの選択肢 在宅血液透析

選ばれた方
の声

- ・体調が良くなった
- ・家族と過ごす時間が増えた
- ・仕事の時間がもてた

— 患者数の推移 —



年	患者数
2003	110
2005	127
2007	187
2009	229
2011	327
2013	461
2015	569

日本透析医学会統計調査委員会調べ

こんにちは、在宅透析推進チームです。ニュースでは気温の上昇に伴い熱中症患者さんの増加が報道されています。

夏場の気温上昇に伴い、汗をたくさんかいた場合など、水分補給が不十分であると、普段は水分の溜まりやすい透析患者さんでも、脱水を起こします。

ですが必要以上に水分を取ると、心臓に負担がかかるため、注意が必要です。

体重測定を行いながら、少しずつこまめな水分補給が大切です。またエアコンを使い室温をしっかりと調節するようにしましょう。

さて来たる8月19(日)14時より長崎市立図書館1階多目的ホールにて第5回地域連携講演会が開催されます。講演者は前回に引き続き小野千鶴さんです。

小野さんは、上五島にお住いで在宅透析をされながら子どもの山村留学を受け入れられており、そこでは農作業や動物の飼育など様々なことが体験できます。島での生活や在宅透析の話が聴ける貴重な機会ですので関心がある方はぜひご来場ください。



上五島の夕日



山村留学の子供たち



第5回 長崎腎病院 地域連携講演会

日時 平成30年**8月19日(日)**

14:00~15:30

会場 長崎市立図書館 1階 多目的ホール

長崎市興善町1-1 TEL:095-829-4946

講演 「在宅血液透析で、元気をあきらめない」

～自給自足の島暮らし～

講師：小野千鶴様



【申込方法】別紙申込用紙にご記入の上 FAXにて申込みください。

【締切】平成30年8月17日(金)

主催：長崎腎病院

連絡先：長崎腎病院 医療相談課 (藤原・林田)

〒850-0032 長崎市興善町5-1

TEL 095-824-1101(代表) FAX 095-824-1181

URL <http://www.nagajin.jp/>



特別養護老人ホームこくら庵
ユニット紹介

ユニットに暮らす入居者や職員によって、そのユニットの雰囲気や特長が異なります。そこで今年度は各ユニットの特長や取り組みをご紹介したいと思います！

今回は稲佐ユニットのご紹介です。

稲佐ユニットは「季節」をテーマに四季を感じていただけるような空間作りに力を入れています。季節に合わせたインテリア雑貨のディスプレイのほか、廊下及びユニットカウンターに生け花を飾っています。花や緑を見たときの心理的な影響として、不安や緊張がほぐれて気持ちが静まったり、あるいは気分高揚に働くそうです。

一日の大半をユニットで過ごす入居者様に、四季を感じながら、ストレスなく快適に過ごしていただける生活の場を目指し、空間作りに取り組んでいます。



地域連携室からのご案内

		月	火	水	木	金
■長崎腎病院 診療科目 内科、腎臓内科 泌尿器科 診療時間 AM9:00～12:00 PM15:00～17:00	AM	久原医師	原田医師 河津医師 澤瀬医師 (泌尿器科)	河津医師 船越医師	西野医師 久原医師	原田医師 澤瀬医師 (泌尿器科)
	PM	原田医師	久原医師	原田医師	久原医師	河津医師
■長崎腎クリニック 診療科目 内科、腎臓内科 診療時間 AM9:00～12:00 PM15:00～18:00	AM	橋口医師				
	PM					

医療法人衆和会 NAGASAKI JIN GROUP

長崎腎病院

〒850-0032
 長崎市興善町5番1号
 ☎095(824)1101



MAP



長崎腎クリニック

〒851-2105
 西彼杵郡時津町浦郷272-14
 ☎095(813)2777

